



# ワイワイ 盛り上がる 読上げ算 スタート!



4月に入ってから競技大会(27日)に向けて読み上げ算の練習をスタート、これまでに何回も練習してきた生徒も、今回初めてチャレンジする生徒も、それぞれの目標に向かってトレーニングに励んでいます。

競技大会では、そろばん・あんざん・英語で競い合うため、この3種目をメインに読み上げ算練習を実施中。読み上げ算の場合、生徒により得意種目と苦手種目が明確に分かれる場合が多いのが特徴的。‘そろばん’はスムーズに珠を弾けるけど、‘あんざん’はどうしても間違ってしまうたり、逆に‘あんざん’は楽々できるけど、英語になると途端に苦労したり…という感じでまさに十人十色。脳の働きの専門的なことはよく分かりませんが、‘目の前のそろばん’と‘アタマの中のイメージそろばん’の違い、または耳から入ってくる言語が日本語か英語の違いによって脳の働きが大きく異なっているのかもしれない。

また、読み上げ算の場合、‘そろばん’と‘あんざん’とでは正答率がちがってくるのが特徴のひとつ。‘そろばん’だと検定用問題と読み上げ算問題では結果がほぼ同じになる傾向にあり、例えば3級検定を練習している生徒は、見取り算も同レベル(4ケタ・8口程度)であれば正解となる場合が多くなります。一方あんざんの場合は少し事情がちがってきます。一般的にあんざん検定だと多くの生徒が

	見取り算	読上げ算
問題	目からインプット	耳からインプット
計算のやり直し	容易にできる	かなり困難
計算スピード	自分の好きなペース	読み手のペース
必要なこと	アタマの集中力	全身全霊の集中力
よくあるミス(共通)	◆足し算と引き算の混同	◆ケタの入れ間違い
正解だったとき	普通にうれしい	踊りたくなる位うれしい

見取り算で誤答を繰り返し、克服するまでにかなりの時間とエネルギーを使いますが、同じ生徒が読み上げ暗算になると過去に練習したことがないハイレベルの問題でもあっさり出来てしまうことがあります。たとえば普段のプリント練習では見取り暗算2桁の4口を正答するのに苦労しているのに、読み上げ算になると2桁4口どころか2ケタ5口・6口が楽にできたり、更には3桁3口・4口を正答したりします。どういうメカニズムでそうなるのかは分かりませんが、ホントに毎回驚き…。ペーパー上の数字を目でとらえて脳に情報を伝える場合と、耳から飛び込んでくる数字を脳に送る場合とでは、処理するプロセスや仕組みが違って来るのかもしれない。巷ではそろばんと右脳との関連性がよく取り上げられますが、視覚情報と聴覚情報とでは右脳で処理する仕組みが違って来るのでしょうか? 機会があれば脳科学の専門家に詳細を聞いてみたいです。

最後に、もしかしたらこれが最も大切なことかも知れませんが、読み上げ算を練習しているときの生徒たちの表情がとても楽しそうで、これが‘何としてもがんばって正解するぞ’というモチベーションアップと連動しています。普段の練習では周りの生徒と話したり騒いだりすると先生から直ちに注意されてしまうけど、読み上げ算は答えるときは大きな声で伝える必要があるし、そのうえ問題を読み上げている途中で「だめだあ」とか「もう一回言って!」とか「簡単すぎる～」とかとにかく教室が賑やかになりがちで、各生徒が会話のキャッチボールを楽しんでいる様子をうかがうことができます。試験しながら本番モードの練習はモチロン大切ですが、リラックスした気持ちで臨む読み上げ算は本来の実力以上に能力が発揮できるのかも!?

やり直しが効かないという意味では、フラッシュ算算との共通点はありますが、フラッシュと比べても読み上げ算のほうがより難度の高い問題を処理できる傾向にあるようです。練習時の周りの生徒とのライバル意識も役立っているのでしょうか。大会本番ではベストを尽くして持てるチカラを存分に発揮できるよう頑張っていきましょう~!!



## アバカス・サーキット第312戦(3月大会)成績



### F1 自己記録更新者(全参加者4916名)

氏名	得点	UP点	学年	学年別	
				順位(上位%)	学年人数
伊藤 彩羽	228	+8	中1	182 (38%)	484
鈴木 桃寧	206	+6	小5	226 (22%)	1015
平手 九	160	+2	小6	387 (49%)	791
中末 妃愛	136	+6	小6	516 (65%)	791
小林 美緒	114	+12	小5	698 (69%)	1015
北國 美怜	110	+20	小4	566 (65%)	877
鈴木 菜々花	104	+19	小3	423 (69%)	609

- \*F1での自己ベスト更新者は左の通り(100点以上)。
- \*F2の合格者はいません。
- \*以前から参加している生徒の中には、これまで20回以上もF1に参戦している人もいますが、依然としてベスト記録を更新し続けていることは、本当にスゴイこと。成人なら大きな壁に突き当り進みがストップしてしまうところを子供は潜在能力と持ち前のパワーで壁をあっさり突き抜けていく。みんなどこまで伸びていくのか、とても楽しみ。
- \*4月からは新たな生徒が参入します。みなさん、文鎮ゲットを目指しましょう。